

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年7月12日

【四半期会計期間】 第136期第2四半期(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

【会社名】 株式会社ホテル、ニューグランド

【英訳名】 HOTEL NEWGRAND CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 濱田 賢治

【本店の所在の場所】 横浜市中区山下町10番地

【電話番号】 (045) 681-1841

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 岸 晴記

【最寄りの連絡場所】 横浜市中区山下町10番地

【電話番号】 (045) 681-1841

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 岸 晴記

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第135期 第2四半期累計期間	第136期 第2四半期累計期間	第135期
	自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日	自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日	自 平成23年12月1日 至 平成24年11月30日
売上高 (千円)	2,693,910	2,791,326	5,343,208
経常利益 (千円)	128,675	146,131	205,849
四半期(当期)純利益 (千円)	83,042	80,375	116,816
持分法を適用した場合の 投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	3,455,000	3,455,000	3,455,000
発行済株式総数 (千株)	5,856	5,856	5,856
純資産額 (千円)	8,099,542	8,179,300	8,134,895
総資産額 (千円)	11,032,981	10,973,397	11,042,761
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	14.29	13.84	20.11
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	0.00	0.00	7.50
自己資本比率 (%)	73.4	74.5	73.7
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	370,998	175,732	712,274
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	23,028	17,759	68,780
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	229,221	43,077	429,761
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	1,103,319	1,313,199	1,198,303

回次 会計期間	第135期 第2四半期会計期間	第136期 第2四半期会計期間
	自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日	自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	10.26	11.10

(注) 1 売上高には、消費税及び地方消費税は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3 四半期連結財務諸表を作成していないため、連結会計年度に係る主要な経営指標等の記載は行っておりません。

4 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社がないため、該当事項はありません。

2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。
なお、重要事象等は存在しておりません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、新政権による金融緩和や景気対策への期待感から、円安株高が進み、景気回復の兆しが見えてきたものの、欧州の債務問題の長期化や日中間の領土問題などにより、先行きは未だ不透明な状況であります。

このような状況のもと、当第2四半期累計期間の売上高は、2,791,326千円（前年同四半期比3.6%増）となりました。

販売費及び一般管理費は1,751,340千円（前年同四半期比4.7%増）となり、営業利益は144,400千円（前年同四半期比12.6%増）、経常利益は146,131千円（前年同四半期比13.6%増）となりました。

また、当第2四半期累計期間の四半期純利益は法人税等合計の増加により、80,375千円（前年同四半期比3.2%減）となりました。

なお、当社が営むホテル業は、第4四半期に宴会（婚礼）需要が強く、売上高が多く計上される傾向があります。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

（ホテル事業）

ホテル事業の当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,763,089千円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益132,035千円（前年同四半期比11.7%増）となりました。

なお、主な部門別の売上高は、宿泊部門593,184千円（前年同四半期比7.5%増）、レストラン部門759,800千円（前年同四半期比5.6%増）、宴会部門1,182,745千円（前年同四半期比0.0%増）となりました。

（不動産賃貸事業）

不動産賃貸事業の当第2四半期累計期間の業績は、売上高28,237千円（前年同四半期比10.6%増）、営業利益12,364千円（前年同四半期比23.7%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

資産合計は10,973,397千円(前事業年度末比69,363千円減)となりました。

主な要因は現金及び預金114,895千円の増加や、売掛金42,751千円の減少、有形固定資産145,974千円の減少などです。

(負債)

負債合計は2,794,096千円(前事業年度末比113,768千円減)となりました。

主な要因は買掛金26,007千円の減少や、未払法人税等78,500千円の減少などです。

(純資産)

純資産合計は8,179,300千円(前事業年度末比44,405千円増)となりました。

主な要因は利益剰余金36,819千円の増加や、その他有価証券評価差額金7,794千円の増加などです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ114,895千円増加し、1,313,199千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業収入2,866,466千円、原材料又は商品の仕入れによる支出978,438千円、人件費の支出811,365千円、その他の営業支出729,487千円、法人税等の支払額172,849千円などにより営業活動によるキャッシュ・フローは175,732千円の収入(前年同期比195,265千円の収入減少)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出17,759千円により投資活動によるキャッシュ・フローは17,759千円の支出(前年同期比5,269千円の支出減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払額42,755千円などにより財務活動によるキャッシュ・フローは43,077千円の支出(前年同期比186,144千円の支出減少)となりました。

(4) 事業上及び財政上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において当社が対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	23,000,000
計	23,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年7月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,856,400	5,856,400	大阪証券取引所 JASDAQ (スタン ダード)	単元株式数 1,000株
計	5,856,400	5,856,400		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年3月1日～ 平成25年5月31日	-	5,856,400	-	3,455,000	-	3,363,010

(6) 【大株主の状況】

平成25年5月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
原 範 行	横浜市中区	431	7.36
株式会社フォーシスアンドカンパニー	東京都渋谷区神宮前6丁目25-14 神宮前メディアスクエアビル4階	408	6.96
株式会社横浜銀行 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	横浜市西区みなとみらい3-1-1 (東京都中央区晴海1丁目8-12 晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタワーZ棟)	285	4.87
清水建設株式会社	東京都中央区京橋2丁目16番1号	235	4.01
東日本旅客鉄道株式会社	東京都渋谷区代々木2丁目-2-2	219	3.73
野 村 弘 光	横浜市中区	216	3.69
麒麟麦酒株式会社	東京都中央区新川2丁目-10-1	165	2.81
上野興産株式会社	横浜市中区山下町46	164	2.80
セコム株式会社	東京都渋谷区神宮前1丁目-5-1	160	2.73
株式会社高島屋	中央区日本橋2丁目4番1号	145	2.47
計		2,429	41.48

(注) 1. 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。

2. 株式会社フォーシスアンドカンパニーから平成25年6月6日付で関東財務局長に提出された大量保有報告書(変更報告書)により平成25年5月31日現在で以下の株式を所有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	株券等保有割合 (%)
株式会社フォーシスアンドカンパニー	東京都渋谷区神宮前6丁目25-14 神宮前メディアスクエアビル4階	410	7.00

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 49,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,717,000	5,717	同上
単元未満株式	普通株式 90,400		同上
発行済株式総数	5,856,400		
総株主の議決権		5,717	

(注) 「単元未満株式」の中には当社所有の自己株式492株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年5月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社 ホテル、ニューグランド	横浜市中区山下町10	49,000	-	49,000	0.84
計		49,000	-	49,000	0.84

(注) 当第2四半期会計期間末日現在の当社所有の自己株式は49,492株であります。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間までの役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間(平成25年3月1日から平成25年5月31日まで)及び第2四半期累計期間(平成24年12月1日から平成25年5月31日まで)に係る四半期財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,198,303	1,313,199
売掛金	273,850	231,098
原材料及び貯蔵品	74,393	77,170
繰延税金資産	34,402	26,114
その他	32,429	30,001
貸倒引当金	470	460
流動資産合計	1,612,909	1,677,124
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,128,305	9,128,305
減価償却累計額	3,502,454	3,589,464
建物(純額)	5,625,851	5,538,841
土地	2,972,803	2,972,803
建設仮勘定	24,045	24,695
その他	6,599,539	6,465,758
減価償却累計額	6,011,479	5,937,313
その他(純額)	588,059	528,445
有形固定資産合計	9,210,759	9,064,784
無形固定資産	56,229	54,289
投資その他の資産	162,863	177,198
固定資産合計	9,429,852	9,296,272
資産合計	11,042,761	10,973,397
負債の部		
流動負債		
買掛金	384,450	358,442
未払法人税等	184,900	106,400
未払賞与	131,100	132,100
前受金	195,035	184,210
災害損失引当金	3,389	150
ポイント引当金	2,255	2,745
その他	264,590	225,506
流動負債合計	1,165,722	1,009,555
固定負債		
繰延税金負債	59,564	25,713
再評価に係る繰延税金負債	586,351	586,351
退職給付引当金	681,344	765,659
役員退職慰労引当金	130,104	135,478
その他	284,778	271,338
固定負債合計	1,742,143	1,784,541
負債合計	2,907,865	2,794,096

	前事業年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,455,000	3,455,000
資本剰余金	3,363,010	3,363,010
利益剰余金	829,150	865,970
自己株式	23,993	24,202
株主資本合計	7,623,167	7,659,777
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,722	5,071
土地再評価差額金	514,451	514,451
評価・換算差額等合計	511,728	519,522
純資産合計	8,134,895	8,179,300
負債純資産合計	11,042,761	10,973,397

(2)【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
売上高	1 2,693,910	1 2,791,326
売上原価	892,595	895,586
売上総利益	1,801,315	1,895,740
販売費及び一般管理費	2 1,673,126	2 1,751,340
営業利益	128,188	144,400
営業外収益		
受取利息	84	88
受取配当金	1,217	1,319
受取保険金	384	-
その他	418	435
営業外収益合計	2,104	1,843
営業外費用		
支払利息	1,469	-
その他	148	112
営業外費用合計	1,617	112
経常利益	128,675	146,131
特別損失		
固定資産除却損	-	144
特別損失合計	-	144
税引前四半期純利益	128,675	145,986
法人税、住民税及び事業税	131,097	95,483
法人税等調整額	85,464	29,872
法人税等合計	45,632	65,611
四半期純利益	83,042	80,375

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	2,765,902	2,866,466
原材料又は商品の仕入れによる支出	959,935	978,438
人件費の支出	754,333	811,365
その他の営業支出	668,452	729,487
小計	383,181	347,174
利息及び配当金の受取額	1,302	1,407
利息の支払額	1,354	-
法人税等の支払額	11,439	172,849
災害損失の支払額	690	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	370,998	175,732
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	20,868	17,759
無形固定資産の取得による支出	3,360	-
その他	1,200	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	23,028	17,759
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	40,000	-
短期借入金の返済による支出	240,000	-
配当金の支払額	28,631	42,755
その他	589	322
財務活動によるキャッシュ・フロー	229,221	43,077
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	118,748	114,895
現金及び現金同等物の期首残高	984,571	1,198,303
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,103,319	1,313,199

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

特記すべき事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

1 売上高の季節的変動

前第2四半期累計期間(自平成23年12月1日至平成24年5月31日)及び当第2四半期累計期間(自平成24年12月1日至平成25年5月31日)

当社が営むホテル業は、第4四半期に宴会(婚礼)需要が強く、売上高が多く計上される傾向があります。

2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
人件費	667,330千円	724,628千円
退職給付費用	73,945千円	97,164千円
役員退職慰労引当金繰入額	4,599千円	5,574千円
減価償却費	208,775千円	162,321千円
水道光熱費	129,311千円	132,185千円
業務委託費	121,590千円	129,071千円
販売手数料	101,737千円	105,376千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
現金及び預金	1,103,319千円	1,313,199千円
現金及び現金同等物	1,103,319千円	1,313,199千円

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年2月23日 定時株主総会	普通株式	29,050	5.00	平成23年11月30日	平成24年2月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の未日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前事業年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年2月27日 定時株主総会	普通株式	43,555	7.50	平成24年11月30日	平成25年2月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の未日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前事業年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,668,388	25,522	2,693,910	-	2,693,910
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,668,388	25,522	2,693,910	-	2,693,910
セグメント利益	118,191	9,997	128,188	-	128,188

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ホテル事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,763,089	28,237	2,791,326	-	2,791,326
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,763,089	28,237	2,791,326	-	2,791,326
セグメント利益	132,035	12,364	144,400	-	144,400

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額	14円29銭	13円84銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	83,042	80,375
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	83,042	80,375
普通株式の期中平均株式数(株)	5,809,583	5,807,135

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年7月12日

株式会社ホテル、ニューグランド

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 安 田 弘 幸 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大 和 哲 夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ホテル、ニューグランドの平成24年12月1日から平成25年11月30日までの第136期事業年度の第2四半期会計期間(平成25年3月1日から平成25年5月31日まで)及び第2四半期累計期間(平成24年12月1日から平成25年5月31日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ホテル、ニューグランドの平成25年5月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。